

令和4年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金（介護保険における自治体への財政的インセンティブ）の交付決定について

介護保険の保険者（市町村）に対し、評価項目の達成状況に応じて国から交付される、令和4年度の保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金（介護保険における自治体への財政的インセンティブ）の交付決定がありましたので報告します。

【 交付金について 】

名 称		保険者機能強化推進交付金	介護保険保険者努力支援交付金
目 的		高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた取組の推進	介護予防・健康づくりに資する取組の重点化
制度開始		平成30年度	令和2年度
国予算額		それぞれ市町村分は190億円（都道府県分10億円を加え総額200億円）	
算定方法		評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）に加え、令和2年度からは第1号被保険者（65歳以上の被保険者）数を加味して分配	
交 付 金	配分額	28,401千円	28,092千円
	順位(全国)	138位	145位
	順位 (県内13市)	2位	2位
使 途		<p>○地域支援事業及び保健福祉事業に係る1号保険料に充当。</p> <p>○高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止、給付費適正化に必要な取組及び人材の確保。</p> <p>○昨年度から、一般会計に繰り出して行う高齢者の予防・健康づくりに資する取組（新規・拡充部分）に充当可能となった。本市では「フレイル予防実証事業」の2/3に相当する額を一般会計に繰り出し、その財源として、当該交付金を充てている。</p>	<p>○地域支援事業に係る1号保険料に充当。</p> <p>○以下の事業に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業 ・包括的支援事業のうち包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 ・在宅医療・介護連携推進事業 ・生活支援体制整備事業 ・認知症総合支援事業

【 評価結果及び交付金配分額について 】

(1) 保険者機能強化推進交付金

項 目	R 3 年度				R 4 年度			
	配点	鶴岡市	全国平均	県平均	配点	鶴岡市	全国平均	県平均
PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築	155	125	118.5	124.1	115	95	66.01	57
自立支援、重度化防止等に資する施策の推進	1,190	827	612.1	601.9	900	600	462.35	448
介護保険運営の安定化に資する施策の推進	245	144	106.2	100.3	360	251	195.28	197
合 計 (点)	1,590	1,096	836.8	826.4	1,375	946	723.64	702
順位 (全国)		171				180		
順位 (県内13市)		3				2		
交付金配分額 (千円)※再掲	28,703				28,401			
順位 (全国)		137				138		
順位 (県内13市)		2				2		

※ 「全国」 : 1,741 保険者

(2) 介護保険保険者努力支援交付金

項 目	R 3 年度				R 4 年度			
	配点	鶴岡市	全国平均	県平均	配点	鶴岡市	全国平均	県平均
PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築	60	40	39.7	43.7	35	30	18.46	17
自立支援、重度化防止等に資する施策の推進	775	496	384.5	386	635	355	298.22	299
介護保険運営の安定化に資する施策の推進	50	10	12.1	10	60	40	18.83	13
合 計 (点)	885	546	436.3	439.7	730	425	355.52	329
順位 (全国)		305				293		
順位 (県内13市)		2				2		
交付金配分額 (千円)※再掲	28,730				28,092			
順位 (全国)		139				145		
順位 (県内13市)		2				2		

(3) 保険者機能強化推進交付金 + 介護保険保険者努力支援交付金

	R 3 年度				R 4 年度			
	配点	鶴岡市	全国平均	県平均	配点	鶴岡市	全国平均	県平均
得点合計 (点)	2,475	1,642	1,273.10	1,266.10	2,105	1,391	1,061.60	1,031.00
順位 (全国)		215				214		
順位 (県内13市)		2				2		
交付金配分額合計 (千円)	57,433				56,493			
順位 (全国)		141				141		
順位 (県内13市)		2				2		

【評価指標の見直しについて】

- ・令和4年度は、市町村の様々な取組達成状況を、各種データ等分析結果から評価できる指標となっているかが検証され、より具体化した評価指標の見直しが行われました。
- ・第8期介護保険事業計画の基本方針目標値に対する進捗管理等が位置づけられました。
- ・曖昧な表現等について文言整理が行われました。
- ・内容が細分化され、小項目数は77から60程度になったが、取組過程の進捗や取組の深度・幅を測れるように階層化されたことで、取組が進んでいる場合は点数が高く、そうでない場合は点数が低いという結果に結びつきやすいものとなったと、国は分析しております。

【本市の状況について】

- ・第8期介護保険事業計画が全体の評価項目を網羅するものであるが、本運営協議会での委員の皆様からのご意見を参考に具体的に目標値を設定し、PDCAサイクルによる改善をめざしつつ、各種事業を進めております。
- ・本市の2つの交付金の順位と得点率からみると、取組の深度は進められている傾向にあると言えるのではないかと分析します。
- ・今後の取組としては、自立支援・重度化防止等に資する施策の推進の項目をどのように推し進めることができるか検討し、分析・計画、実行、評価改善（見直し）の進捗管理を実施してまいります。